



2018年12月期 決算短信補足資料

2019年2月14日(木)



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと
We craft your imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、
それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

Mission

ビジョン実現に向けて、日本創発グループがなすべきこと

チームワーク

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、
ベスト・パートナーとなることをめざします。そのため
にも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技

私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、
それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質

納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォ
ローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳の
ない高い品質を実現します。

Value

ビジョンとミッションの下、

日本創発グループがお客さまや社会に提供する価値

プラスαの追求

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える
成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっと
その笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、
お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

我が事として

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、
お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、
そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と
会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに
息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しな
がら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ

私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力
と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、
今まで見たことのないカタチでターゲットの心に
刻みつけていきます。

良き市民

私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、
業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、
誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

グループ会社 Group company

主な連結子会社

印刷・製造事業

 日経印刷株式会社

日経印刷株式会社

 BISHODO

株式会社美松堂


TANAKA
田中産業株式会社


MGS
METAL GOODS AND SERVICE
株式会社MGS

Lithmatic

東京リスマチック株式会社



株式会社エム・ピー・ビー

 宏和樹脂工業株式会社

宏和樹脂工業株式会社

セールスプロモーション・ロイヤルカスタマー

Going Beyond Conventional Thinking
popal
株式会社ポバル

株式会社ポバル


ANSTY

株式会社アスティ


DANE SCIENCE
ダンサイエンス株式会社

PICO
プリンティングイン株式会社

PRESEZ

株式会社プレシーズ


サンエーカガク印刷
Sanei Chemistry Printing

サンエーカガク印刷株式会社

SEIO
PRINTING CO., LTD.

成旺印刷株式会社


OKUMA
since 1927
大熊整美堂
株式会社大熊整美堂

グループ会社 Group company

	主な連結子会社	主な持分法適用会社など		
		50%超	20%~50%	20%未満
デジタルコンテンツ事業	 <p>株式会社キャドセンター</p>  <p>株式会社エグゼクション</p>  <p>クラウドゲート株式会社</p>  <p>株式会社ソニックジャム</p>	11社	 <p>株式会社サイバーネット</p>  <p>株式会社イメージ・マジック</p>	5社
メーカー	 <p>株式会社 サカモト</p> <p>株式会社サカモト</p>  <p>株式会社メディコス・エンタテインメント</p>  <p>株式会社コロレ</p>  <p>株式会社あみューズ</p> <p>株式会社あみューズ</p>  <p>株式会社 エヌビー社</p> <p>株式会社エヌビー社</p>		 <p>未来開発 Dream up the future.</p> <p>NRIフィナンシャル・グラフィックス NRIフィナンシャル・グラフィックス株式会社</p>  <p>ALPHA CODE 株式会社アルファコード</p>	

00

2018年12月期の総括

売上高・営業利益・EBITDAは事業環境が厳しいながらも増加した。
サステイナブルな成長基盤を構築するため、改革に着手した。

① 新規グループ化は3社のみ

- ・田中産業(株) 連結対象 3Q~
- ・(株)MGS 連結対象 3Q~
- ・カタオカプラセス(株) 持分法対象 3Q~

② 売上高 営業利益 経常利益 EBITDA 親会社株主に帰属する当期純利益

+40.5% + 14.4% ▲ 4.9% +27.4% ▲ 959

※ EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

③ グループ内シナジー創出に注力

- ・ 4社を除き2018年で退職金制度を廃止 **特別損失 233百万円**
- ・ 事業所の移転統合

④ 経営資源の効率的運用を目的としたガバナンスの強化

- ・ M&Aに関する方針を再定義 **営業外費用 349百万円**
各社ののれんの回収可能性を保守的に検討 **特別損失 1,403百万円**
- ・ 今後ともM&Aは新方針にて前向きに進める

事業環境について

① 印刷製造事業

- ・ 出版等、印刷需要低下の傾向
- ・ 付加価値の高い技術



生産性の向上
グループ内製化率の強化

② ITデジタル

- ・ Visualize Technology
- ・ AI・マーケティング Analysis



VR、MRのサービス化
RPA・AI Technology

③ セールスポモーション (SP) & ロイヤルカスタマー (RC)

- ・ コミュニケーション設計
- ・ 商品サービスの開発支援



ITを活用したマーケティング
幅広いグループソリューションの活用

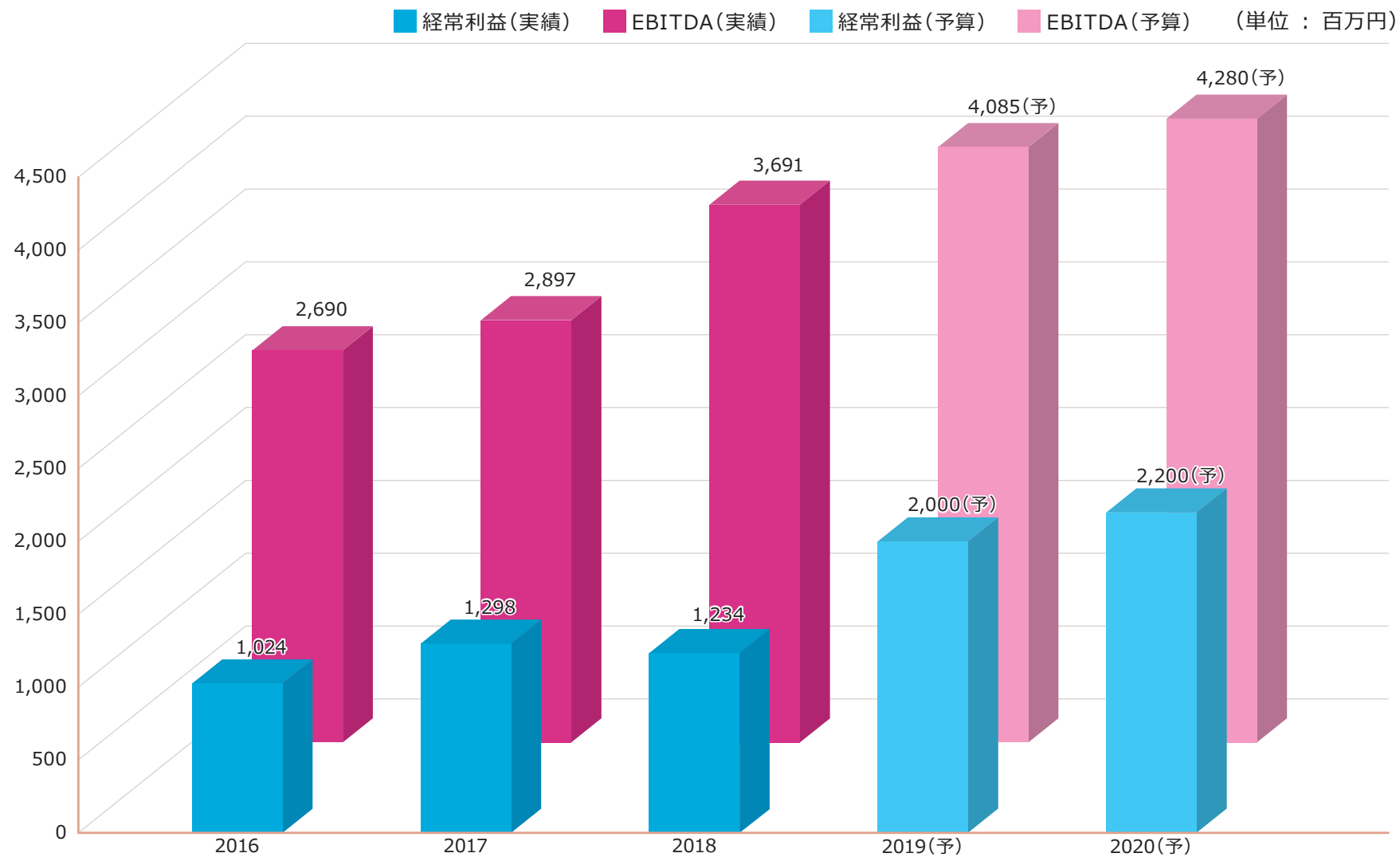
④ メーカー

- ・ IT、SPのノウハウを活用したマーケティング
- ・ 感性の高いモノづくり



商品開発と販売手法の多様化
(ECなど)

01 2018年12月期の要約



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

02 2018年12月期(連結)実績

(単位：百万円)

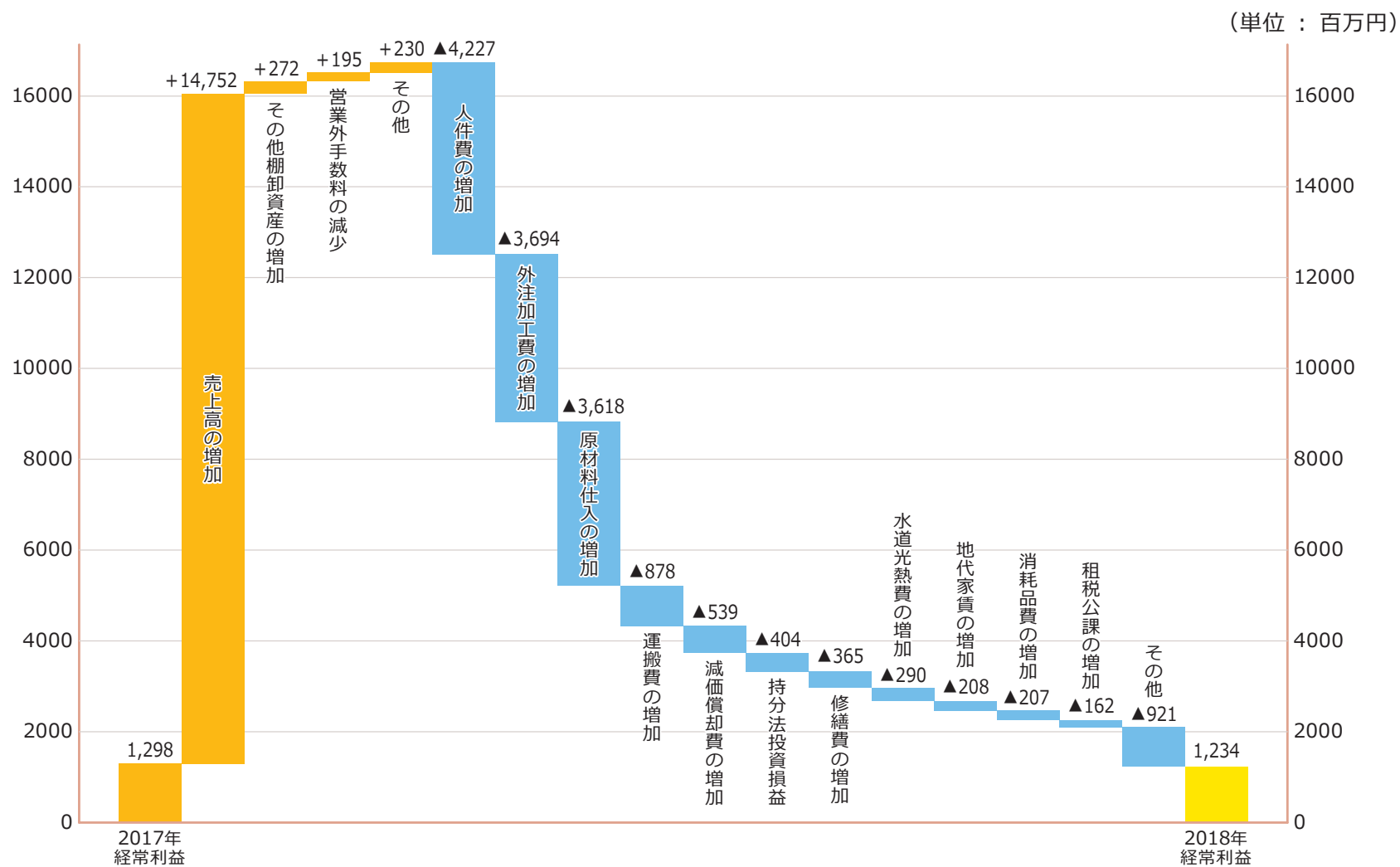
	2018年実績(A)	2018年計画(B)	差 異(A-B)		2017実績(C)	差 異(A-C)	
	金 額	金 額	金 額	対計画比 増減率	金 額	金 額	対前期比 増減率
売上高	51,145	48,000	3,145	6.6%	36,393	14,752	40.5%
営業利益	1,612	1,800	▲ 188	▲ 10.4%	1,410	202	14.4%
営業利益率	3.2%	3.8%	—	—	3.9%	—	—
経常利益	1,234	1,800	▲ 566	▲ 31.4%	1,298	▲ 64	▲ 4.9%
経常利益率	2.4%	3.75%	—	—	3.6%	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲ 959	1,200	▲ 2,159	—	1,251	▲ 2,210	—
当期純利益率	▲ 1.9%	2.5%	—	—	3.4%	—	—
EBITDA	3,691	3,860	▲ 169	▲ 4.4%	2,897	794	27.4%

03 連結損益計算書概況

(単位：百万円)

		2017年12月期(実績)	2018年12月期(実績)	前期比増減	増減率
A	売上高	36,393	51,145	14,752	40.5%
B	原材料費	7,738	11,356	3,618	46.8%
	商品仕入	507	395	▲112	▲22.1%
	外注加工費	8,649	12,343	3,694	42.7%
	運搬費・著作権料・保管費	1,006	1,911	905	90.0%
	その他の原価	347	205	▲142	▲40.9%
A - B		18,146	24,935	6,789	37.4%
	人件費	10,886	15,113	4,227	38.8%
	減価償却費	1,134	1,673	539	47.5%
	のれん償却費	419	482	63	15.0%
	賃借料	925	1,149	224	24.2%
	租税公課	213	375	162	76.0%
	貸倒費用	11	11	0	0.0%
	営業利益	1,410	1,612	202	14.4%
	支払利息	85	113	28	32.9%
	持分法投資損益	20	▲384	▲404	-
	経常利益	1,298	1,234	▲63	▲4.9%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,251	▲959	▲2,210	-

04 2018年12月期連結経常利益増加の要因



05 連結貸借対照表(資産の部)

(単位：百万円・%)

科 目	2017年12月期		2018年12月期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
流動資産	24,223	47.8%	20,800	41.5%	▲ 3,423	▲ 14.1%
現金及び預金	6,668	13.2%	5,558	11.1%	▲ 1,110	▲ 16.6%
受取手形及び売掛金	10,800	21.3%	11,770	23.5%	970	9.0%
たな卸資産	1,566	3.1%	2,131	4.3%	565	36.1%
繰延税金資産	141	0.3%	158	0.3%	17	12.1%
短期貸付金	4,301	8.5%	246	0.5%	▲ 4,055	▲ 94.3%
その他	839	1.7%	1,104	2.2%	265	31.6%
貸倒引当金	▲ 96	▲ 0.2%	▲ 169	▲ 0.3%	▲ 73	76.0%
固定資産	26,422	52.2%	29,302	58.5%	2,880	10.9%
有形固定資産	17,714	35.0%	22,803	45.5%	5,089	28.7%
建物及び構築物	5,493	10.8%	6,510	13.0%	1,017	18.5%
機械装置及び運搬具	2,495	4.9%	3,243	6.5%	748	30.0%
土地	9,318	18.4%	12,378	24.7%	3,060	32.8%
その他	406	0.8%	670	1.3%	264	65.0%
無形固定資産	2,847	5.6%	1,003	2.0%	▲ 1,844	▲ 64.8%
のれん	1,963	3.9%	83	0.2%	▲ 1,880	▲ 95.8%
その他	883	1.7%	919	1.8%	36	4.1%
投資その他の資産	5,860	11.6%	5,496	11.0%	▲ 364	▲ 6.2%
投資有価証券	4,150	8.2%	3,061	6.1%	▲ 1,089	▲ 26.2%
繰延税金資産	65	0.1%	98	0.2%	33	50.8%
その他	1,713	3.4%	2,372	4.7%	659	38.5%
貸倒引当金	▲ 69	▲ 0.1%	▲ 36	▲ 0.1%	33	▲ 47.8%
資産合計	50,645	100.0%	50,102	100.0%	▲ 543	▲ 1.1%

06 連結貸借対照表(負債及び純資産の部)

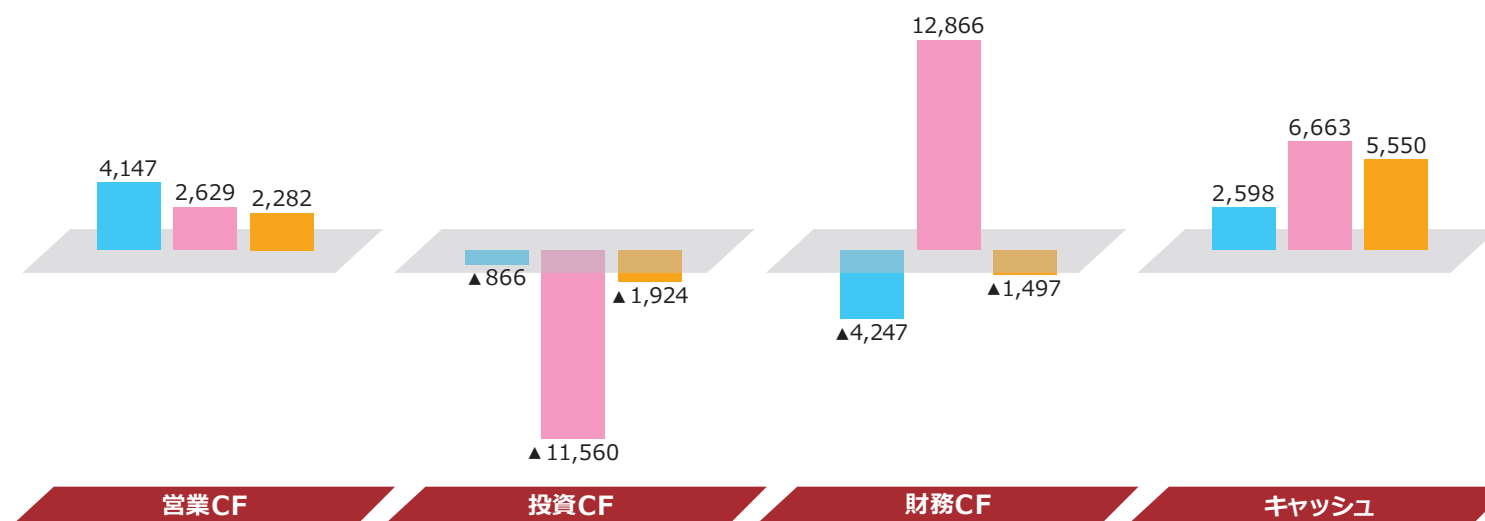
(単位：百万円・%)

科 目	2017年12月期		2018年12月期		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
流動負債	25,988	51.3%	27,411	54.8%	1,453	5.6%
買掛金	3,310	6.5%	3,259	6.5%	▲51	▲1.5%
短期借入金	17,020	33.6%	18,050	36.0%	1,030	6.1%
1年以内返済予定長期借入金	1,480	2.9%	1,717	3.4%	237	16.0%
未払法人税等	816	1.6%	501	1.0%	▲315	▲38.6%
その他	3,362	6.6%	3,911	7.8%	549	16.3%
固定負債	11,982	23.7%	11,688	23.3%	▲294	▲2.5%
長期借入金	8,276	16.3%	7,500	15.0%	▲776	▲9.4%
長期設備関係未払金	521	1.9%	1,030	2.1%	509	97.7%
繰延税金負債	644	1.3%	664	1.3%	20	3.1%
退職給付債務	1,680	3.3%	901	1.8%	▲779	▲46.4%
資産除去債務	83	0.2%	98	0.2%	15	18.1%
その他	775	0.7%	1,493	3.0%	718	92.6%
負債合計	37,971	75.0%	39,129	78.1%	1,158	3.0%
資本金	400	0.8%	400	0.8%	0	0.0%
資本剰余金	4,899	9.7%	4,926	9.8%	22	0.4%
利益剰余金	7,073	14.0%	5,800	11.6%	▲1,268	▲17.9%
自己株式	▲40	▲0.1%	▲1,279	▲2.6%	▲1,239	—
非支配株主持分、その他	341	0.7%	1,125	2.2%	784	229.9%
純資産合計	12,674	25.0%	10,973	21.9%	▲1,701	▲13.4%
負債・純資産合計	50,645	100.0%	50,102	100.0%	▲543	▲1.1%

07 キャッシュ・フロー

■ 2016年12月期 ■ 2017年12月期 ■ 2018年12月期 (単位：百万円)

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,147	2,629	2,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲866	▲11,560	▲1,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲4,247	12,866	▲1,497
現金及び現金同等物の期末残高	2,598	6,663	5,550



08 2019年12月期業績(連結)の見通し

(単位：百万円)

	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (計画)	前 期 比	
			差 額	増減率
売上高	51,145	53,000	1,855	4%増
営業利益	1,612	2,000	388	24%増
経常利益	1,234	2,000	766	62%増
EBITDA	3,691	4,085	394	11%増
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲ 959	1,200	2,159	—
EPS (円 銭)	▲ 75円38銭	95円93銭	171円31銭	—

※ EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

09

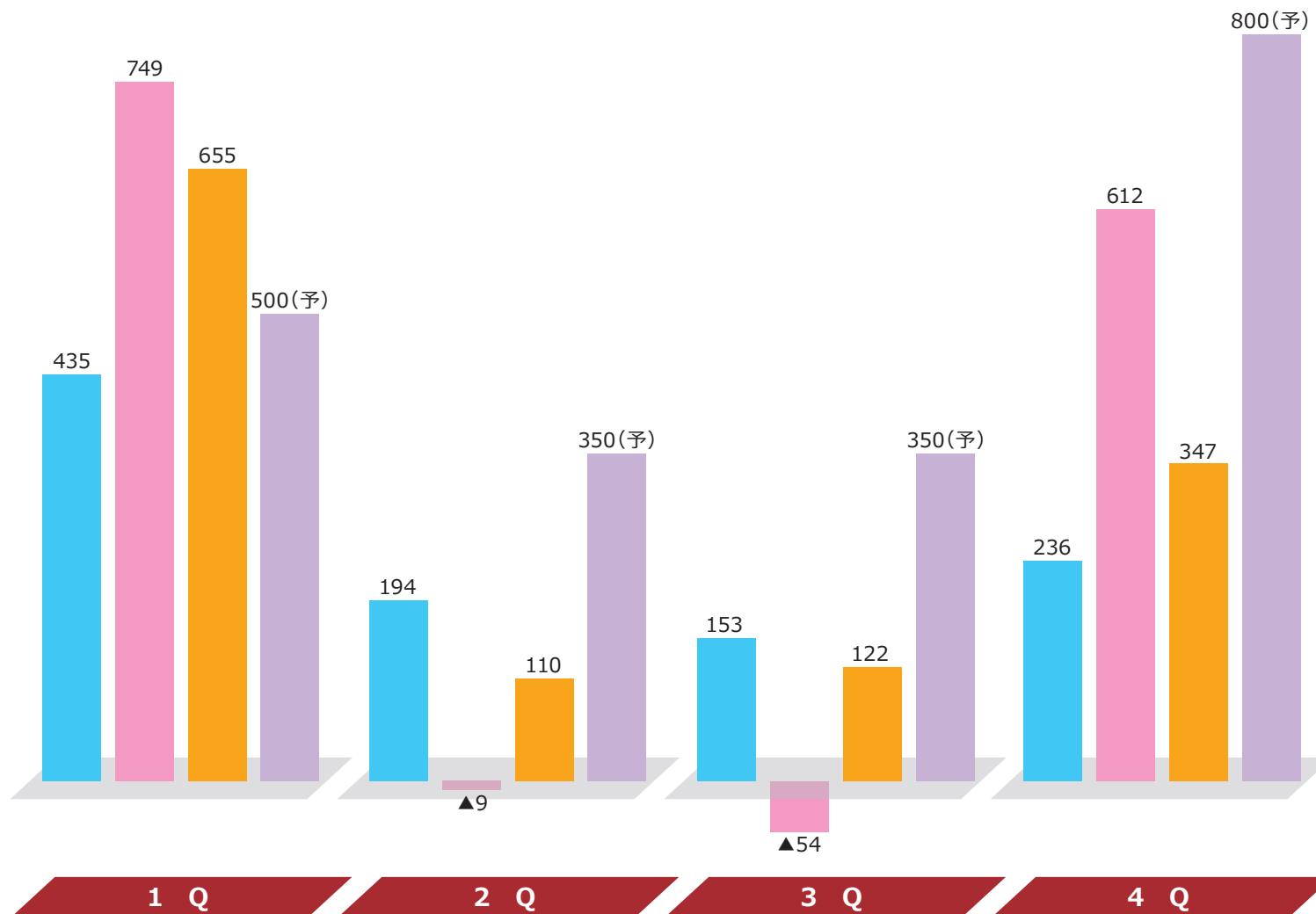
四半期売上高の推移(連結)

■ 2016年12月期 ■ 2017年12月期 ■ 2018年12月期 ■ 2019年12月期(予算) (単位：百万円)



10 四半期経常利益の推移(連結)

■ 2016年12月期 ■ 2017年12月期 ■ 2018年12月期 ■ 2019年12月期(予算) (単位：百万円)



11

計画数値

(単位：百万円)

		2018年度(実績)	2019年度(計画)	2020年度(計画)
P L	売上高	51,145	53,000	55,000
	減価償却費	1,673	1,750	1,650
	のれんの償却額 内 連結対象子会社	610 482	200 100	300 150
	営業利益	1,612	2,000	2,200
	経常利益	1,234	2,000	2,200
	親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 959	1,200	1,300
	EBITDA 成長率	3,691 27.4%	4,085 10.7%	4,280 4.8%

本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

U R L : <https://www.jcpg.co.jp/>

E-mail : cp@jcpg.co.jp

T E L : (03) 5817-3061 IR担当